

当地に在留・滞在又は渡航を予定している邦人の皆様へ
在イスラエル日本国大使館
2019年11月14日

イスラエル・パレスチナにおける注意喚起, 安全対策 11/14

(ポイント)

● ガザ地区及び同地区周辺: 11月12日早朝のイスラエル軍によるガザ地区内のパレスチナ抵抗勢力への攻撃以降, ガザ地区から多数のロケット弾等がイスラエル側へ発射され, 一部はテルアビブ近郊やアシュドット上空にも飛来しました。12, 13両日は, イスラエル軍とパレスチナ抵抗勢力双方による攻撃の応酬に発展し, 14日早朝時点では, イスラエル・パレスチナ抵抗勢力間での停戦合意が報じられています。

上記以外にも, 従来からイスラエルとの境界付近で, パレスチナ人による抗議デモや火炎瓶, ロケット弾等の飛来が発生しており, それらに対しイスラエル軍が反撃する状況がたびたび起こっています。特に毎週金曜日午後の礼拝後の時間帯は, 抗議活動等の規模が大きくなる場合があります。

ガザ地区及び同周辺地域等は危険レベル3(渡航中止勧告)に指定されていますので, 同地域には近寄らないで下さい。

● ヨルダン川西岸地区及びエルサレム旧市街地を含む東エルサレム: 11月11日, ヘブロン(Hebron)のアルアロウブ(Al 'Arrub)難民キャンプ入口付近でイスラエル治安部隊とパレスチナ人の衝突が発生し, パレスチナ人がイスラエル兵士の発砲を受け死亡しました。

上記以外の地域においても, パレスチナ人とイスラエル治安当局との衝突やナイフ等を使った襲撃事案が主にイスラエルとの境界にあるチェックポイントやイスラエル人入植地付近で発生することがありますので, 危険情報に従って慎重な行動を心がけて下さい。特に毎週金曜日午後の礼拝後の時間帯は注意して下さい。場所のいかんを問わず, 抗議活動の現場に遭遇した場合には, 決して近づかず, 直ちに安全な場所に避難して下さい。

● 北部国境: イスラエル北部のレバノンとの国境地帯は危険レベル3(渡航中止勧告)に指定されていますので, 同地域には近寄らないで下さい。

● ゴラン高原: イスラエルが実効支配するゴラン高原では, シリア側からミサイルが発射される事案がこれまで発生しています(直近の発射事案は6月3日)。

イスラエルが実効支配する地域を含め, ゴラン高原はシリアの危険情報として危険レベル4(退避勧告)に指定されていますので, 同地域には近寄らないでください。

(外務省海外安全ホームページ: イスラエル, ヨルダン川西岸地区及びガザ地区の危険情報)

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo_2018T099.html#ad-image-0

● 当地での降雨は短時間に激しい雷雨となることがあり, 場所により洪水となる地域もあります。特に南部の砂漠地帯では突発的な洪水(鉄砲水)が発生することがありますので, 訪問先の天候には十分な注意が必要です。